



元気っ子

No.199 ながさわ保育園

園長 市川 温 予

平成25年度のおゆうぎ会も無事に終わり、子ども達も先生達もほっとした表情がみられます。当日はたくさんの方に観に来ていただき、ありがとうございました。また、おゆうぎ会後は心温まる感想をたくさんいただき、私達にとって嬉しくまた、とても励みになりました。

さて、おゆうぎ会を終えた子ども達は一人ひとりが大きな山を越え、成長したと思います。大きな舞台でたくさんのお客の方の前で堂々と踊ったり、演じたりと一人ひとりの子どもの力のすごさを強く感じました。みんなが本当によく頑張ったと思います。

うさぎ組（2歳児）の親子の共演「せんろはつづく」はとてもあたたかい親子の雰囲気があり、お家の方も大きな声で台詞を言ってくださり、子ども達にとっても頑張る大人の姿をそばで観て感じることができ、とてもよかったと思います。



また、異年齢クラスでのダンスやオペレッタはお互いに支え合っているのがよくわかり、観ていて胸が熱くなりました。私はいつも陰マイクを担当するので、舞台そでに待機している子ども達の会話や表情がよくわかります。「きんちょうするー。」と胸をおさえたり、「ちゃんとしやな、ばーばが来てくれてるし。」などまだ小さいのにいろんな事を思い、感じ、当日を迎え舞台に立っているんだなと毎年思います。「ドキドキしてきた。」と表現する子が多い中、5歳児は「大丈夫、大丈夫。がんばるなあ。」と自分自身に言い聞かせているような言葉がけを小さい子にしていました。すごいですね。5歳といってもまだまだ自分のことで精一杯だと思いますが、小さい子を気遣ってあげる姿を見るととても嬉しくまた感心してしまいます。演じ終って戻ってきた時に「上手やったよ。よかったよ。」と褒めてあげると緊張の糸がほどけ、「うん。頑張ったよ。」とどの子もいい笑顔でした。こうやって周りの大人がプラスの言葉がけ、認めを言葉をいっぱい、いっぱいかけてあげることが子ども達にとってはとても大切なことだと思います。また、お家の方に褒められることが子ども達にとっては最高の瞬間だと思います。褒められ、認められることによって子どもの心は優しく強く成長していくのだと思います。

3月10日（月）からライオン組は異年齢クラスから抜け、就学に向けての準備をしていきます。年長さんが抜けた異年齢クラスは、3、4歳児と2歳児（うさぎ組）が少しずつ異年齢クラスの準備としての移行期間として入室します。2歳児がいることによって、3、4歳児はお兄ちゃん、お姉ちゃんぶりを発揮するでしょう。今まで年長さんに優しくしてもらったり、助けてもらったりしたことを体で覚え、自分の中に取り込んでいるのできっと2歳児さんのことを気にかけていろいろとお世話をしてくれると思います。

いろんな年齢が混ざって生活することによっていろんな感情体験や感動体験、また人間関係のトレーニングができ、これから生きてく上で必ずプラスになると私は信じています。

今年度もあとわずかですが、事故のないように子ども達には元気にそしてゆっくりと過ごしてほしいと思っています。